
白い鳥

j

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

白い鳥

【Nコード】

N0995G

【作者名】

j

【あらすじ】

白い鳥はいるのでしょうか？白い鳥がみたい。

(前書き)

変な小説です。

私はもうじき死ぬ。

まだ、16歳なのに。

病气って残酷だよね？

私の体をむしばんでいく。

笑えるよね。

バカみたいだよね。

それでさ、私、いつも思うんだ。

はやく楽になりたいって。

でも一つだけ。

一つだけ、死ぬ前にやりたい事があるんだ。

一回でいいから、白い鳥がみたい。

なんでかな？

わかんないけど、みたい。

白い鳥を見ると、天国への白い階段が出てくるんだって。

好奇心・・・でみたいのかな？

まあ、それでもいい。

私が、この世界で生きてた証として、白い鳥をみる。

偶然でもいいから。

《ドクン》

あれ？

《ドクン》

心臓・・・痛いな。

少し横になろ。

『バサッバサッ』

あつ、白い鳥。

そっか。

迎えに、来てくれたんだね・・・。

ありがとう。

あつ、白い階段。
もう、行こう。

『ピ————』

機械の音が病室になり響く。

さようなら。

さようなら。

この世界。

この世界にいる白い鳥は、幸せを運ぶ。

そう。

天国と言う、幸せへ。

そこは、苦しみも、悲しみもない世界。

喜びしかない。

永遠に、悲しみを味わう事はできない。

暗くない世界。

明るい世界。

もう、この世界には戻れない、所・・・。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0995g/>

白い鳥

2010年10月28日06時57分発行